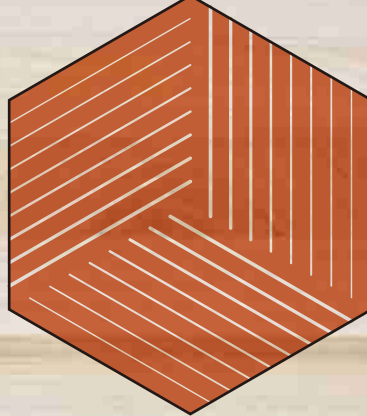
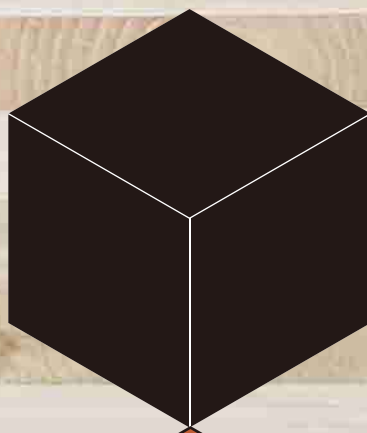




CLT OF THE YEAR — PIONEER —



新たなコンテスト「CLT OF THE YEAR」がスタートします！


応募期間
2024

7.1 (月) —

8.30 (金)
18時まで

一般社団法人日本 CLT 協会は、設立から 2024 年で 10 年を迎えます。この節目の年を迎えるにあたり、CLT (Cross Laminated Timber) を用いた建築のさらなる普及・発展を目指し、新たな表彰制度「CLT OF THE YEAR」をスタートします。本制度は、CLT を使用した建築物および製品を対象とし、CLT がどのように活用され、工夫されているかを評価し、表彰します。第 1 回は、特別に過去 10 年間に竣工・完成した作品を対象とした『CLT OF THE YEAR — PIONEER —』として開催します。さらに、世界的に著名な建築家であり、CLT 特別アドバイザーを務める隈研吾氏による特別賞も設けております。

賞

 隈研吾特別賞：1点

 CLT OF THE YEAR — PIONEER —：数点

 優秀賞：数点

審査委員

審査委員長 鈴木 大隆 (地方独立行政法人北海道立総合研究機構 理事)

審査委員 青木 謙治 (東京大学大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 木質材料学研究室 教授)

内海 彩 (株式会社内海彩・長谷川龍友建築設計事務所 代表取締役、NPO 法人 team Timberize 理事)

小見山 陽介 (京都大学大学院工学研究科建築学専攻 講師)

末光 弘和 (九州大学大学院人間環境学研究院 准教授、株式会社 SUEP 主宰)



← CLT OF THE YEAR -PIONEER-
特設サイトはこちらから (<https://clt-oftheyear.com>)

主催：一般社団法人 日本 CLT 協会





応募対象

2014年1月1日～2023年12月31日までの10年間に国内で竣工・完成したCLTを用いた建築物および製品であり、CLTを活用した新しい可能性をもたらすものを対象とします。
(2025年以降は、開催年の前年から2年前までに国内で竣工・完成し、CLTを使った建築物および製品を対象として開催予定です。)

応募資格

- CLTを用いた建築物および製品の設計者、施工者、施主等関係者
- 個人での応募のほか、企業・団体・グループ単位での応募も可
- 審査委員からの推薦

応募要件

建築の構造形式や製品の種類は問いませんが、CLTが使われていることが必須要件です。

応募方法

応募は、WEBフォームからの応募に限ります。郵送での応募は受け付けておりません。

<https://forms.gle/JEvCHt8Fkfph15d7>

応募には Google アカウントにログインが必要です。お持ちでない方は Google アカウントの作成をお願いします。

登録項目・プレゼンテーション資料

応募には、以下の「必須項目」情報の入力と「プレゼンテーション資料」の添付が必須です。

【必須項目】	「応募者情報」および「応募作品情報」の入力
【プレゼンテーション資料】	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション資料は、A3横向き2枚以内、ファイル形式は PDF のみとし、ファイルサイズは5MB 以下としてください。 ・「審査ポイント」からアピールポイントを3つ以上選び、選んだ理由を具体的に記載してください。 ・図面、写真、アピール文などは表現方法は自由です。 ・概要説明などに使用する文字サイズは読みやすい大きさとし、最小で8ポイント以上としてください。

以下の審査ポイントを考慮し、審査するものとします。

審査ポイント	1. 革新性とクリエイティビティ	CLT を使用した建築物および製品における革新的なデザインや従来の枠組みを超えた斬新な発想、技術的な革新性があるか。
	2. 持続可能性	環境への影響を最小限に抑えるための取り組みや持続可能な資材の使用がされているか。
	3. 機能性・効率性・施工性	CLT の利用によって生み出された機能性や効率性をどのように向上させ、施工の合理化や標準化が実現されているか。
	4. 品質・耐久性	木の持つ経年的な価値を活かし、長期間にわたり、美しさや機能性を維持するための耐久性が配慮されているか。
	5. 安全性	構造的な安全性に加え、火災や地震などの自然災害に対する耐性の確保がされているか。
	6. 社会提案性	地域コミュニティへの貢献や利用者の健康や快適性の向上、地域経済への波及効果の提案があるか。
	7. 意匠性・造形性	構造やデザインが優れているか。
	8. 普及・啓発性	伝える手段・手法に特色があるか、継続・発展性があるか。
	9. 経済性	コスト効率の良さや経済的な利点についての提案がされているか。
	10. 利用者への適正	利用者やシーンに応じた機能性に優れているか。

応募内容に関する注意事項

- ・提供いただいた資料は、原則として非公開とし、審査のみに使用させていただきます。ただし、画像などの情報は、日本 CLT 協会のウェブサイトや SNS などでの広報記事、または CLT OF THE YEAR の紹介記事（外部メディアの記事を含む）に使用させていただく場合がございます。
- ・公表に際しては、著作権および著作権がクリアされたものと見なします。資料の使用および公開につきましては、あらかじめご了承の上、ご応募ください。
- ・応募は1作品1応募となります。同じ建築物や製品について複数の応募があった場合は、応募者同士で協議のうえ、応募者を一本化してください。
- ・応募書類は、提出された作品および資料は返却いたしません。

審査結果発表

2024年12月頃、表彰式および日本 CLT 協会ホームページにて発表

お問い合わせ先

一般社団法人 日本CLT協会 CLT OF THE YEAR 事務局
 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-9-10 茅場町ブロードスクエア 2 階
 Tel : 03-5801-9883 E-mail: compe@clta.jp

